

九州大学経営協議会議事録

日時：令和4年6月23日（木）13：00～14：30

場所：web会議により開催

出席者：28名中20名出席

【構成員等の紹介】

交代のあった委員について紹介があった。

【審議事項等】

- 1 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について
第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、これを議決した。

- 2 令和5年度概算要求について
令和5年度概算要求について説明があり、審議の結果、これを議決した。
なお、以下のような意見交換があった。
 - ・令和5年度運営費交付金等概算要求の基本方針（以下「概算要求の基本方針」という。）に関する記載があるが、指定国立大学法人構想のなかにあるダイバーシティの推進を目的とした設備更新など、ダイバーシティ推進に向けた支援についてもここに含めるとよいのではないか。
→ここでは障害学生の学習支援という限定的な記述をしているので、もう少し枠を膨らませることができるかどうか検討したい。
 - ・ダイバーシティについては、指定国立大学法人構想に示されているところを、大学で実施する研究領域としても取り組んで欲しい。そうすれば、指定国立大学法人の評価を受けるときによいのではないか。
 - ・概算要求の基本方針によると来年度の概算要求はこれまでと違ってかなり厳しいという認識が伝わってくる。その中で特にミッション実現戦略分で社会的インパクトを明確に示すことが重要であると書かれているが、どのような形でこれを示しつつ要求をされているのか。
→ミッション実現戦略分は第四期中期目標期間に固定された金額が配分されるため、概算要求はしていない。その執行に当たっては、大学の中で総長のリーダーシップのもとで配分していくことにしている。
 - ・社会的インパクトというのはいかたちで表現しているのか。
→今の段階で具体的に社会的インパクトに関し明示しているわけではないが、指定国立大学法人構想等に掲げているエントリポイントは非常に重要な位置づけと考えている。
 - ・概算要求の基本方針の「4. その他」に、自己収入の確保が極めて重要という記載があるが、自己収入の増加へ向けて一つ的手段として、今年度国において公募が予定されている国際卓越研究大学いわゆる大学ファンドの運用益の獲得にぜひ九大には手を挙げていただきたいと考えている。これまで同様に、引き続き支援が可能なものがあれば、福岡市としては積極的に協力・支援していきたい。
→WGを作って応募する方向で検討している。しかし、ハードルが高く、条件がクリ

アできるかどうかを含めて、荒殿プロボストを中心に検討を進めているところである。市とも協力して臨んでいきたい。

- 3 国立大学法人九州大学会計規則の改正について
国立大学法人九州大学会計規則の改正について説明があり、審議の結果、これを議決した。
- 4 令和3年度資金運用実績について
令和3年度資金運用実績について報告があった。

【懇談】

- 1 「九州大学オープンイノベーションプラットフォーム(OIP)の活動紹介」と題して九州大学における取組み、研究活動の紹介があった。
- 2 「九州大学 ARO の働き」と題して九州大学における取組み、研究活動の紹介があった。

・次回の経営協議会は令和4年10月27日(木)に開催予定である旨の案内があった。

(以 上)